北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	異文化ゼミナール	科目コード	1152	単位数	2
担当者名	劉　？	開講セメスター	第2セメスター	開講年次	1年次
授業の方法	演習	到達目標	B	実務経験	無
ナンバリング	BSe202	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

本ゼミは、中国文化を象徴する「春節」「パンダ」「無形文化遺産」などを主要テーマとして取り上げ、中国社会における伝統文化の意義と現代的役割について理解を深めることを目的とする。その考察を通して、日本文化と比較して、異文化の理解を促進する。また、文化と観光、異文化交流との関連にも着目し、中国文化が国際社会や観光産業において果たす役割について基礎的な視点から考察する。さらに、調査・討論・発表などのアクティブ・ラーニングを通して、主体的学習能力および協働的なコミュニケーション能力の育成を図る。

到達目標

1.中国の代表的な文化要素（春節、パンダ、無形文化遺産など）および文化的意義について基礎的に説明できる。
2.日本文化との比較を通して、その共通点および相違点を考察できる。
3.調査・討論・発表を通して、自らの考えを論理的に整理し、他者に伝えることができる。
4.留学生との交流を通して、異文化に対する理解を深め、国際的視野をもって文化現象を考察する姿勢を身につける。

授業内容

1週目 オリエンテーション＆発表順の決定
2週目 ①「春節」（１）：帰省
3週目 ②「春節」（２）：一家団欒
4週目 ③「春節」（３）：お祝い
5週目 グループディスカッション：中国の「春節」と日本のお正月
6週目 A　プレゼンテーション：中国の「春節」と日本のお正月
7週目 ④「パンダ使者」
8週目 ⑤ 留学生との交流
9週目 ⑥「代々相伝：無形文化遺産」（エピソード１＆２）
10週目 ⑦「代々相伝：無形文化遺産」（エピソード３＆４）
11週目 ⑧ 「代々相伝：無形文化遺産」（エピソード５＆６）
12週目 グループディスカッション：北海道の文化資源と文化遺産
13週目 B　プレゼンテーション：北海道の文化資源・文化遺産の発信
14週目 C　最終発表・相互評価・講評・フィードバック
15週目 C　最終発表・相互評価・講評・フィードバック
16週目 やむを得ず15週までの内容を実施できな かった場合のみ補講授業

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：毎回の授業前に、テーマに対して、インターネットや新聞記事を調べ、準備する。（１時間程度）。
学習：①②③④⑥⑦⑧について、授業中では必ず常にノートを取って、問題用紙を回答し、提出する。
復習：①②③④⑤⑥⑦⑧について、授業内容を振り返り、レポートおよび課題を提出する。（２時間程度）

成績評価の方法・基準

ゼミは全て出席して、3分の2以上の出席が評価の前提とする。
最終成績＝①②③④⑥⑦⑧問題用紙の回答提出10%　＋　①②③④⑤⑥⑦⑧レポート提出20%　＋　A&Bプレゼンテーション30%　＋　C最終発表40%

履修上の留意点

履修者は中国語学習の経験があることが望ましい。
病気やケガの療養を理由に欠席する場合は、所定の欠席届と、その内容の根拠となる書類を提示してください。
授業に関する連絡や課題の提出・返却はmanabaを用いて行います。毎回の授業の前後に確認してください。

課題に対するフィードバックの方法

manabaを通じて課題の採点結果とコメントを個別に連絡します。

テキスト

特になし
必要なテキストは授業内で用意する。

参考書

張　競『異文化理解の落とし穴　中国・日本・アメリカ』（岩波書店）
名和 又介『CCTVで学ぶ中国文化: 中国語中級テキスト』（金星堂）

更新日付

2026/03/13 11:58